

いのちの言の葉2011

富山県教育委員会平成23年度いのちの教育総合支援事業

「いのちの大切さ」

射水市立太閤山小学校
平成23年12月6日実施

【いのちの先生】

太田 友恵先生

・世界移植者スポーツ大会(競泳)金メダル受賞者

【授業の概要】

- 1 小学5年生から始めた水泳
- 2 突然の劇症肝炎、そして生体肝移植
- 3 苦しかった闘病生活、死の恐怖
- 4 世界移植者水泳大会での活躍
- 5 多くの人に感謝し、せいっぱい生きていくことの大切さ

〇〇へ

〇〇ちゃんがうまれてきてくれたから、ママはママになりました。
〇〇ちゃんが元気なら、ママも元気。
〇〇ちゃんが笑顔なら、ママも笑顔。
〇〇ちゃんが悲しかったら、ママも悲しい。

ママのおなかから、うまれてきて、別々の「人」として成長していくけど、ずっとつながっているんだよ。ママからうまれてきてくれて、ほんとうに、ありがとう。

お母さんへ

わたしをうんでくれて、ありがとう。いつも、いっしょにいてくれて、ありがとう。ずっと見まもってくれて、ありがとう。

〇〇より

お母さんへ

わたしは、命は人のため、そして自分のためにあるということを知りました。

わたしは、今まで、あきらめてばかりいたけど、今日の話を聞いて、わたしは、新しい道をスタートしていくことを決めました。命は自分のできる力をいかしていることがわかりました。

お母さんへ

ぼくをそだててくれて、ありがとう。お父さん、おかあさん、いのちをくれて、ありがとう。これからも、おいしいごはんをつくってね。

〇〇へ

命は、とても大切なものだよ。死んでしまったら、食べたいものも食べられない。友達とも遊べない。ママやパパ、〇〇と話すこともできなくなるよ。病院で生まれての〇〇を抱いたときは、なみだがあふれたよ。小さい手でママの指をギュッ手してくれて、とてもかわいかったな。ママのところに生まれてきてくれて、ありがとう。こまったときは、そうだんしてね。ずっと、ずっと大好きだよ。ママより

〇〇へ

〇〇が生まれてときは、よなきがひどく、ぼにゆうものんでくれなくて、たいへんだったけど、みんなは、〇〇が、生まれてきてくれて、ほんとうにうれしかったんだよ。ともだちより、少しせいちょうが、ゆっくりだけど、しっぱいしてもいい、まちがってもいい、友達をケカしてもいい、いろんなけいけんをして、そこから、いろんなことをまなんでいってください。